

教育研究所だより

No.217号 令和2年1月23日(木) 【発行者】守山市教育研究所 所長 西川 典子
守山市勝部三丁目9番1号(守山市生涯学習・教育支援センター 愛称:エルセンター 3・4階)
TEL:077-583-4217 FAX:077-583-4237
E-mail:kyoikukenkya@city.moriyama.lg.jp
HP:http://www.city.moriyama.lg.jp/kyoikukenkya_index.html

メタセコイア、子どもを見守る地域の誇り

～ 30回目を迎えた「中洲ふれあいの灯」～

中洲小学校 校長 小野田 祐美子



北原白秋は「薔薇ノ木ニ 薔薇ノ花サク。ナニゴトノ不思議ナケレド。」と詠みました。中洲小学校の校庭には、何事のご不思議なく、メタセコイアがすくと立っています。この木の下では委員会のイベントで多くの子どもたちが四つ葉のクローバーを探したり、月1回の「メタセコイア下校」における安全確認を行ったりと、植物学で「生きた化石」とも呼ばれるメタセコイアは、しっかり生きて、中洲小学校の様々な活動を見守り続けてきました。

この木が植えられたのは1954年。今から65年前は20cmほどの苗木にすぎませんでした。町内(当時、守山はまだ市ではありませんでした)の各学校に配られたようですが、残念ながら他の学校で大きなメタセコイアを見かけることはありません。中洲小学校では校舎改築の際にも伐採の憂き目に遭うことなく、2本のうちの1本の木がまもなく30mに届こうかとする勢いです。

このメタセコイアに電飾を施し、「中洲ふれあいの灯」として点灯するようになったのは、平成2年(1990年)のこと。中洲学区21活動協議会のみなさんが、「子どもたちの心に夢を与え、学区の活性化につなげよう」との思いで始められたプロジェクトでした。その思いは営々と受け継がれ、今年が第30回の節目です。12月8日の点灯式は、守山市制施行50周年・野洲川放水路通水40周年とあわせて、「五万枚のメッセージカードを飾って、世界一のクリスマスツリーをつくろう!」と華々しく行われました。カードには、中洲小学校の子どもたちはもとより、市内の小学生の思いもたくさんこめられています。地域のみなさんによって吊り下げられたカードを改めて見てみると、「将来は〇〇になりたい」「〇〇をがんばります」といった前を向いたメッセージがたくさんあることに気付かされます。そのキラキラ光る51,626枚のメッセージカードは、見事、ギネス世界記録に認定されました。

たくさんの方がメタセコイアを見つめ、いざ灯りがともされると、グラウンドには大きな歓声と笑顔がはじけました。一つの大きなともしびとなったメタセコイアを見上げると、あたたかな光に包まれて何とも言えない幸せな気持ちになります。それは、グラウンドに立った誰もが感じる思いではないでしょうか。だからこそ、メタセコイアは愛され、守られ続けてきたのです。

白秋の「薔薇二曲」はこんなふうになります。

「薔薇ノ花。ナニゴトノ不思議ナケレド。照り極マレバ木ヨリコボルル。光リコボルル。」

中洲小学校のメタセコイアはまだ伸び極まったわけではありませんが、点灯された電飾から、子どもたちや地域のみなさんのメッセージカードからたくさんの光がこぼれ、未来を照らします。

第3回初任者研修

11月22日(金)、第3回守山市初任者研修を実施しました。午前は守山小学校において授業研究会、午後はエルセンターに会場を移し、幼稚園・こども園・保育園の先生方も加わって特別支援教育に関する研修を行いました。

今野 耀大 教諭による国語科の授業の後、授業研究会では、学習のめあてを達成するためにはどうすればよいか、具体的で熱い議論が交わされました。午後は、滋賀県立守山養護学校 福井 亜由美 教頭から、障がいのある子どもの就学の流れや学習内容についてお話しいただきました。

教材研究の大切さや子ども一人ひとりの状況に応じた教材の工夫、子どもの気持ちに寄り添う生活指導など、参加者にとって大きな学びとなりました。一日を通して、積極的に学ぼうとする初任者の姿が印象的でした。



幼児教育研修講座3

12月3日(火)、幼児教育研修講座3を実施しました。滋賀短期大学 柚木 たまみ 教授を指導講師としてお迎えし、「音遊びを楽しもう」というテーマのもと、2つのワークショップを中心に講座を進めていただきました。1つは、わらべ歌の旋法を用いた「絵描き歌」の作曲、もう1つは時計の文字盤を利用し、1分間の物語に合わせて一人ひとりが想像力を働かせて楽器を用いて表現するという「クロックオーケストラ」に挑戦しました。どちらの活動も受講者にとって初めての体験で始めは戸惑いながら作曲していましたが、講座が終わる頃には自由な音遊びの楽しさを満喫していました。型にはめられた音楽表現だけではなく、自由な発想で音を楽しむ方法があるということを知り、子どもの音楽表現力や創造力を高めることにつながるこのような活動を保育や幼児教育の現場でも取り入れたいという意見をたくさんいただきました。ご参加ありがとうございました。



守山市教育研究発表大会のお知らせ

【日時】 令和2年2月5日(水) 午後1時30分から午後4時50分まで
(受付は午後1時15分から)

【会場】 守山市民ホール 小ホール

【内容】

■中学生海外研修派遣団報告

■全国学力・学習状況調査の考察

■教育研究発表

(1) 指導力向上に関する研究1

ー教員の教育相談的資質の向上をめざしてー

(2) 指導力向上に関する研究2

ー音声から文字への滑らかな接続をめざした小学校外国語の授業づくりー
ー外国語教育における小中連携の実践ー

■教育講演会

演題: 小惑星探査機「はやぶさ2」プロジェクトの挑戦と軌跡
ー宇宙の神秘とロマンー

講師: JAXA プロジェクトマネージャー 津田 雄一 氏

■問い合わせ 教育研究所 Tel 077-583-4217 Fax 077-583-4237

